

大阪府指定出資法人評価等審議会（第12回）

- と き 令和7年10月10日（金曜日）10：00～12：00
- と ころ web会議
- 出席者 新生 雅則（F&Link株式会社 公認会計士）
小沢 貴史（神戸大学大学院 経営学研究科 教授）
西川 和予（株式会社 勁草パートナー 中小企業診断士）
村井 恵美（恵み法律事務所 弁護士）
山口 朋子（株式会社コングレ 監査役）
米村 紀美（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 マネージャー）
- 議 事 大阪府指定出資法人の役員報酬基準の再点検について

■大阪府指定出資法人の役員報酬基準の再点検について

事務局より各法人の役員の職務・職責等について説明

〔主な質疑等〕

（1）（株）大阪鶴見フラワーセンター

委 員：旧交流施設の活用に関しては、法人の今後の収益等に影響する大きな課題であると思われる。

委 員：評価点数の増減についてだが、今回、重要課題が増加したと判断し評価点数が加点となった場合、今後、その課題が解消された場合は、評価点数を下げるとの理解でよいのか。

事務局：基本的にはそのとおり。ただし、今後の点検時には他の状況変化も踏まえた上で、総合的に判断いただくこととなる。

（2）大阪府住宅供給公社

委 員：安定的な経営に向けた取組みなどに対する職務・職責の増加の記載があるが、記載内容からみても法人として当然取り組むべき内容であり、評価点数を変化させるほどの大きな変化とはいえないのではないのか。

（3）大阪府道路公社

※委員からの質疑等は特になし。

（4）大阪モノレール（株）

委 員：物価高騰の環境の下、南伸事業の着実な事業遂行等の課題が増えていることは理解できるが、南伸事業自体はこれまでも予定されていたものであり、また、事業への物価高騰などの影響は、どの法人においても向き合うべき課題でもあるため、評価点数を変化させる状況とまではいえない。

（5）大阪外環状鉄道（株）

委 員：職員数も少ない中、駅舎の大規模耐震改修や財務面での対応などの重要な課題が増加していると思われる。